



けんこう がつごう
健康だより 12月号

2019.11.29 発行
かんのん 町 保育園

朝晩のつんとした冷たい空気に、冬が感じられるようになってきました。日中はまだまだ太陽の日照りが温かく、乳児から幼児まで戸外で元気に遊んで過ごしています。少しずつ感染症も流行し始める時期です。気を付けていきましょう。

○ 感染性胃腸炎に気を付けましょう！

▷ 感染性胃腸炎とは

腸に感染を起こすウイルスによって引き起こされる嘔吐を主な症状とする感染症です。冬に乳幼児に激しい嘔吐と下痢を起こすロタウイルス感染症なども含まれます。また、汚染された水や食べ物の飲食を介した食中毒として起こる場合や、集団発生する場合もあります。

▷ どこから感染するの？

主な感染経路は、病原体が付いたものや手などに触ることで起こる接触感染です。胃腸炎の人に直接接触したりして感染する場合と、胃腸炎の人が使用したタオルやコップを介して感染する場合があります。

▷ 予防するには？

ウイルス性でも細菌性でも、1番重要な予防方法は手洗いや消毒を行うことです。ただし、ウイルスに対してはアルコールは効かないためアルコール除菌液などだけに頼らず、流水でしっかりと石鹸をつけ手洗いをすることが大切です！



～冬期ワセリン塗布について～

手荒れ等で受診している主治医から保育園でも、保湿が必要と診断されているお子さんについては、保護者の申し出があった場合、園にある保湿剤(ワセリン)を塗ることができます。事務所まで声をかけてください。



しっかり手洗い！病気を防ごう！

< 手洗いで予防できる病気 >

インフルエンザ、RSウイルス感染症、溶連菌感染症などは冬場に流行しやすいことが特徴です。

ノロウイルス感染症の場合は、その便や嘔吐物を処理した後の手洗い・消毒が不十分な手指から感染することも多いです。出来る予防を行い、病気にかからないよう気を付けましょう！

保育園でもこの歌を元に手洗い指導を行っています。このようにポーズがあるので、歌いながら一緒に行うと、子ども達も覚えて正しい手洗いができます。ご家庭でも行ってみてください。



11月の感染症情報 インフルエンザA型 2名

